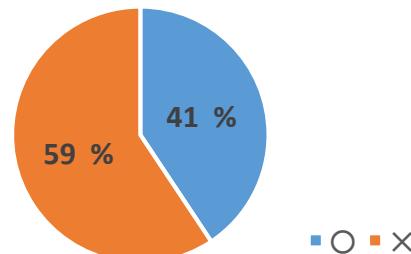


令和5年度 下野市小中一貫教育 教職員対象調査【市全体】

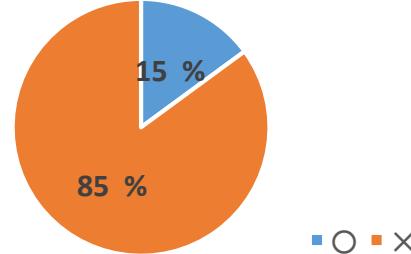
令和5年2月実施

※「小学校」には「義務教育前期課程」、「中学校」には「義務教育学校後期課程」を含みます。

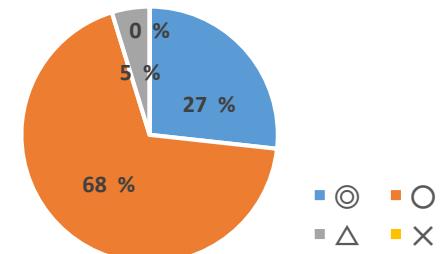
(1)異校種間(小・中学校)で授業を参観した



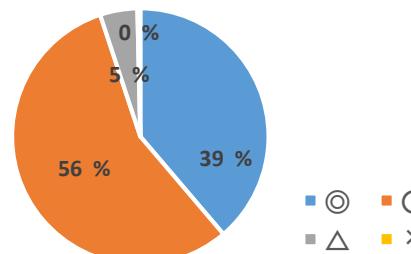
(2)(T1・T2として)乗り入れ授業を実施した



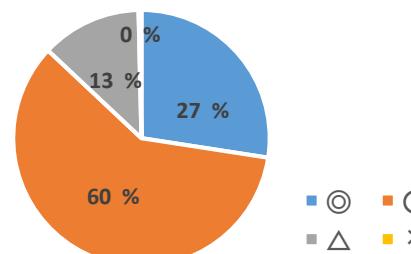
(3)中学校区内で設定した実践研究課題について、共通理解を図り、実践することができた



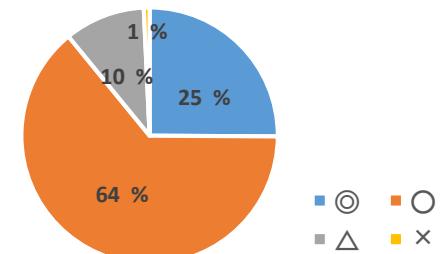
(4)小中一貫の日に実施した内容や取組について、各校において共通理解を図ることができた



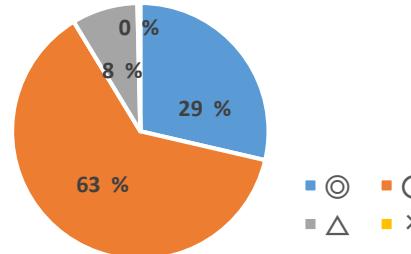
(5)小・中学校の教職員間で互いのよさを取り入れる意識が高まったと感じる



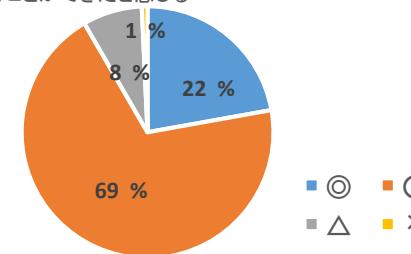
(6)教職員同士の交流を通して、児童生徒についての理解が深まったと感じる



(7)(自分の所属している部会では)今後更に小中一貫教育を推進していくための計画や見通しがある



(8)小・中の交流活動や子ども未来プロジェクトを通して、児童生徒の思いやりやあこがれの気持ちを育むことができたと感じる



(9)保護者や地域の方々は、中学校区内で進めている小中一貫教育について理解していると感じる

